

今日の力

パット・アンドリュース  
テキサス州 アビリン

1月19日(火)

## 天から鳩

聖書朗読 マタイ 3:13～17

こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。

マタイ 3:16

今年の春、妻は大きな手術を受け、その結果、妻の体はガンに侵されていることがわかりました。手術から数日後、妻は退院し、我々が家に戻ると、ちょうど我が家の玄関先に作られていた巣に鳩が戻ってきているのを見ました。私はその鳩を「ジョイ（喜び）」と名づけました。それは、この先続く不安な日々には喜びが必要だったからです。

それから数週間後のイースターの日、教会から帰ると、私たちは玄関先の巣の中に赤ちゃんの鳩がいるのを発見しました。その後の数か月、私たちは平安と愛と信仰と忍耐で満たされました！

この経験を通して私は、我が家の鳩たちから忍耐強く待つことの大切さ、そして暑いときも、凍えるときも、風吹くときも、そして今この病のときも希望を持つことの大切さを学びました。

イエス様のバプテスマのときに現れた鳩は、神の存在、祝福、そして承認を表していました。先の見えない暗闇の中にいる私たちに、我が家の鳩は同じものを与えてくれました。神様はここにおられます。今私たちとともにおられます。そして私たちは平安で満たされています！

*たとえ暗闇の迷路の中*

*暴風雨の中*

*私の魂は唯一無二の信じるものから決して離れない*

*神は素晴らしいことを、私は知っている！*

*ジョン・グリーンリーフ・ホイッティア*

讃美歌 533

祈り お父様。あなた様の愛と存在を改めて確かめる必要はないのかもしれませんが。でも、時々確かめてしまいます。私たちに何が起きようとも、あなた様を求め成長し続けることができますように。心より感謝いたします。  
イエス様を通して。アーメン。

ブルース・M・ヘンダーソン  
ネバダ州 カーソンシティ

1月20日(水)

## 神の報い

聖書朗読 マタイ 6:5～15

やめよ。わたしこそ神であることを知れ。

詩篇 46:10

聖句の中には、イエス様がお一人になって祈られたことに関してふれている箇所がいくつもあります。ルカの福音書5:16もその一つです。『しかし、イエスご自身は、よく荒野に退いて祈っておられた。』その他、マタイの福音書14:23、そしてマルコの福音書1:35でもふれられています。なぜ、イエス様は神の前で一人での時間を求めたのでしょうか？ なぜイエス様はこの時間を大切にされたのでしょうか？

この問いに対して、マタイの福音書6:6でその答えを見ることができます。イエス様は周りの人々に神と一対一で過ごす時間を持つよう教えられました。そして加えておっしゃられました。『隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。』このみことばから私たちは、偽善者がする周りに見せるための祈りに対して、その偽善者が受け取る報いと、神に対して行う祈りから受け取る神から報いが違うものであることを知ることができます。それでは、神から受け取る報いとはいったい何なのでしょう？

この問いの答えは一つではないと思います。そのうちの一つはピリピ人への手紙4:6～7に見ることができます。『何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。』

一人で祈るこの静かなひと時、言葉には言い表せない神の平安と平和が私たちの心を覆ってください。私たちは一対一で神と時を過ごすことで、よりこのめぐみを実感することができます。神の報いとはなんとすばらしいのでしょうか！

讃美歌 162

祈り 親愛なる主。あなた様と二人きりで過ごす時、あなた様が与えてくださる平安に感謝いたします。もっとあなた様の存在を求め、あなた様からの大切な報いを楽しむことができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジーナ・ゴードン

サウスキャロライナ州 ミュレズインレット

1月21日(木)

## 平和を捜し求めて

聖書朗読    マタイ 6:25~34

義は平和をつくり出し、義はとこしえの平穏と信頼をもたらす。

イザヤ書 32:17

イザヤ書には、義は平和をつくり出すと記されています。理解はしているのですが、私はまず先に平和を手に入れようとしてしまいがちです。

ですから私は、時間がある時、心配事から開放されている時、金銭的に余裕がある時、心からリラックスしている時には、もっと神を賛美し、神の御心は何かと捜し求める時として時間を使うよう心がけます。私は全ての仕事を終えると、聖書を学び、祈りの時間を持つようにしています。経済的に安定しているとき、自分のお金を必要としている人々のために使うようにしたいと思います。

いつの日か、穏やかな気持ちで満たされ義を追い求める日がくることを思いながら、私はやり残したことをやり遂げるために多くの時間とエネルギーを注ぎます。それでもやはり、私はなかなか平安を探し当てられません！

イエス様は、余り多くの時間を日々のことで気をもまないよう人々に戒められました。神は私たちが必要なものをご存知でおられます。ですから、自分自身のことや、自分の欲望や恐れに目を向けるのをやめましょう。そして、私たちの目を神に向けましょう！

そうすれば、私たちは平和を見つけることができます。

讃美歌    295

祈り    主なる神。自分でどうにかしようとしたり、神をまず最初に捜し求めない私をお赦してください。決して私たちでは理解できない平和を見つけ出せるよう、あなた様とあなた様の義だけを求めるよう私をお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

タミー・ディットモア

カリフォルニア州    ニューベリー    パーク

1月22日(金)

## 子どもたちを受け入れなさい

聖書朗読    マタイ 18:1~5

だれでも、このような子どものひとりを、わたしの名のゆえに受け入れるものは、わたしを受け入れるのです。    マタイ 18:5

イエス様は、弟子たちの「天の御国では、だれが一番偉いのでしょうか」という問いに、小さい子どもを彼らの真ん中に立たせてこう答えられました。「この子どものように、自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です」と。

この時代の子どもの社会的地位はとても低かったため、子どもたちは謙虚であることが求められていました。イエス様の時代の子どもたちは、今のような愛らしいや、かわいらしいや、抱きしめたくなるような存在ではなく、望まれていない、重荷として見られていました。飢饉や、戦争、伝染病や混乱が起きると真っ先に犠牲になるのが子どもたちでした。イエス様は子どもたちを真ん中に「受け入れ」、そして面倒をみるよう弟子たちに教えられました。

この弱い存在である子どもたちは、今のクリスチャンに非常に大切なミッションを与えてくれています。クリスチャンファミリーは神に忠実な者としてお手本を見せながら、子どもたちに神のみことばを教える責任があります。このミッションのなかで、教会も大きな役割を果たします。もちろん質の高い聖書クラスを子どもたちに提供するだけでなく、それぞれのメンバーが子どもたちに対して特定の役割を担うのです。あるものは祖父母として、あるものは、おじ、おばとして彼らに接します。メンバーは2、3人の面識のない子どもたちを選び、子どもたちの名前を覚え、そして毎週日曜日に彼らに声をかけ、彼らを励まします。このようなことし続けることで、子どもたちは自分が教会にとって重要な一人であると感じるようになるのです。『だれでもこのような子どものひとりを、わたしの名のゆえに受け入れるものは、わたしを受け入れるのです。』

讃美歌    第二編    75

祈り    御在天の我がお父様。子どもたちをお与えくださり感謝いたします。子どもたちを良き道へと導く責任を全うできるようお助けください。子どもたちを教会のメンバーにはなくてはならない存在としてみるができるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

デイブ・ブランド

テネシー州    メンフィス

1月23日(土)

## 仕えるため、そして救うため

聖書朗読 マタイ 20:20～28

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。

ルカ 19:10

ある病院の駐車場に停まっていた消防車のドアには「仕えるため、そして救うため」と書いてありました。イエス様もこれと同じ事をおっしゃってはいませんでしたか？

イエス様は、なかなか理解できない弟子たちに、偉大な者は仕えられるためではなく、仕えるため、この世に来られるということを教えるのに苦労されました。『わたしは、あなたがたのうちにあって給仕する者のようにしています。』ルカの福音書22:27で、こうおっしゃった同じ夜にイエス様は、弟子たちの足を洗ってこのことを証明しました。そして言われました。『わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。』(ヨハネ 13:15)。

イエス様は仕えそして救うために来られました。消防士の仕事の最たるものは、命を救うことです。イエス様はそれよりはるかに多くのことを行われています。『人の子が来たのが、仕えられるためでなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。』(マタイ 20:28)。イエス様は仕える救い主であり、救いのしもべです。

筆舌に尽くしがたい最も苦き苦しみを

主は私の身代わりに負ってくださる

私を地獄から救い出すために

—— フランシス・R・ハーバガル

讃美歌 393

祈り お父様。仕え、救うことの教えを身をもって示して下さったあなた様の御子の心をいつも忘れないようにお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

デイビッド・ギブソン

テキサス州 コマース

1月24日(日)

## 神は人を変える

讃美歌 マルコ 5:1～20

この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるかをわきまえ知るために、心の一新によって自分で変えなさい。

ローマ 12:2

人は本当に変わることができるのでしょうか？ これは文書で記録され始められて以来人々が抱いてきた問いであり、数十億ドルの健康自己管理産業を煽ってきた問いであり、小説の中の多くの屈強の主人公の心の中で渦巻く問いでした。エベネザー・スクルージ(映画クリスマスキャロルの中に出てくる人情のかけらもない金貸し)が、自分を取り巻くもの全てがあらわになり、本当は彼が不幸な人であることを彼自身が知ったとき、彼は変えられ、彼の心が和らいでいくのを見て自分の心が和らいだ人も多いでしょう。

変わることを望むことと、それを達成することは別の問題です。パウロは、自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分が憎むことを行っていて、自分でしたいと思う善を行わないで、かえって、したくない悪を行っていると述べています。このことの真の意味は、人は日々の行いを良き方に変えることはできるけれど、救いはイエス様を通してのみ遂げられるということです。このことはイエス様が癒された汚れた霊につかれた男の話の中で(狂人であったで男が一分後には子どものベビーシッターをお願いしたくなるような人になる)はっきりと見ることができます。

もしイエス様がこの男のように誰かを変えることができるのなら、私たちにも希望があるということですよね！

讃美歌 第二編 161

祈り 親愛なるなる主。私の命はあなたの御手の中にあります。あなた様は御子の尊い血をもって私たちをあなた様に引き寄せてくださいます。私はそこに希望を見つけることができます。このことを決して忘れることのないようお祈りいたします。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジョエル・M・セルビー

ノースキャロライナ州 サクサパハウ